

社会・地域課題解決研究・活動発信拠点として横浜国立大学が 羽沢横浜国大駅前にサテライト施設「YNU BASE HAZAWA」を設置

令和6年9月27日
国立大学法人横浜国立大学

国立大学法人横浜国立大学(神奈川県横浜市、学長 梅原 出)は、羽沢横浜国大駅周辺におけるまちづくりの推進を図り、10月1日に羽沢横浜国大駅前リビオタワー商業施設 HAZAAR 内(神奈川県横浜市)に、サテライト施設「YNU BASE HAZAWA」(ベース ハザワ)を設置いたします。横浜国立大学(以下「本学」という。)の有する多様な学術知・実践知を駆使した分野連携及び多様なステークホルダー(自治体、産業界、学校、市民等)と連携し、多角的に、社会・地域課題を解決していくための研究及び活動またはこれらを地域に発信する拠点として、地域の発展に貢献してまいります。

〔主な活動内容〕

- ・地域連携活動拠点
- ・副専攻プログラム地域交流科目における地域課題実習活動拠点
- ・小規模講義、会議利用
- ・教職員の活動スペース
- ・地域住民との交流スペース



【羽沢横浜国大駅前リビオタワー外観】



【YNU BASE HAZAWA 内装写真】

YNU BASE HAZAWA

〔ネーミング/ロゴデザインについて〕

ネーミングは、本学の副専攻プログラム地域交流科目の地域課題実習など、学生活動の拠点や羽沢地域のまちづくりの拠点としてイメージしました。アカデミックなフレームワークだけではなく、多様なステークホルダーとの出会いを通じ連携していく場になるよう願いを込めています。

ロゴデザインは、当施設に集う学生、教職員、地域のみなさん、生産者のみなさんが愛着を持っていた

だけのようなデザインにしました。地域の様々な人々が集まり、有機的に結びつくような連携拠点らしさを、フレキシブルに配置できる台形のテーブルの形をモチーフに表現しました。

また、多色づかいにすることで、様々な人・職能が連携し、新しいもの・ことを生み出し、地域連携ならではのにぎわいを表現しました。

【横浜国立大学】

横浜国立大学は、四つの旧制学校を母体に1949年に新制大学として設立した総合大学で、建学以来の歴史の中で育まれてきた「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」を理念として掲げるとともに、一人一人の在り方を尊重し合う「多様性」を重んじています。

本学は、横浜市保土ヶ谷区常盤台に5学部・6大学院を有し、多様な専門性を有する教員が集い、高度な教育研究を推進しております。また、地域のイノベーション創出の中心的役割を果たすため、実践的で学際的な教育研究を地域等の多様なセクターや分野を超えて連携しながら展開するためのサテライト施設を、昨年度の新湘南共創キャンパスに次ぎ、拡充しております。これらの活動を通して、「イノベーションの創出・科学技術の発展」等に資する「知の統合型大学」を目指しています。

公式HP：<https://www.ynu.ac.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 産学・地域連携課 地域連携係 E-mail：sangaku.chiiki@ynu.ac.jp

〔ウェブサイト〕 <https://www.chiiki.ynu.ac.jp/>